

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

4.5

2023 Vol. 548



3月28日(金)資材店舗前駐車場にてJA忠類資材店舗・給油所合同展示会を開催いたしました。



タマネギの詰め放題も実施しました。



<http://www.ja-churui.com>

Contents

| | |
|-------------------------------|-------|
| 第75回通常総会 | 2~3 |
| 第60回 青年部定期総会 | 4 |
| 青年部豊作祈願祭の実施 | |
| 第42回 酪農部会定期総会 | 5 |
| 第18回 忠類和牛改良組合定期総会 | |
| 第59回 忠類ゆり根耕作組合定期総会 | 6 |
| 和牛即売会の開催 | 7 |
| 「菜の館ベジタ」オープン | |
| JAって何?~今こそ知っておくべき! 農業協同組合~第七回 | 8~9 |
| 新入職員紹介 | |
| ピックアップ農協職員 | 10 |
| 第1~4回理事会 | 11~12 |
| 退職挨拶 | 13 |
| 令和5営農年度4月末クミカン実績 (JA総計) | 14~15 |
| 普及所センター技術情報 | 16 |
| 生乳生産状況表 | 17 |
| 安全・安心な農作物の生産に向けて | 18~19 |



第75回通常総会

〔原案どおり全6議案可決承認される〕



令和五年四月二十七日(金)午前十時より、J A 忠類二階研修室にて第七十五回通常総会が開催されました。



蛸原代表理事組合長より
開会挨拶

本年度も新型コロナウイルス感染防止に最大限配慮をし、来賓に幕別町長 飯田晴義氏、大樹町農林水産課長 松木義行氏をお招きしての開催となりました。

当日は、多忙な時期にもかかわらず書面を含め正組合員九十五名の出席のもと開会が宣言され、出席者によるJ A 綱領の朗唱が行われ、蛸原組合長挨拶の後、議長に生花農事組合 吉田貴幸氏が推薦され速やかに審議が行われ、令和四年度事業報告・剰



幕別町長
飯田春義氏より来賓挨拶



大樹町役場
農林水産課長
松木義行氏より来賓挨拶

余金処分、令和五年度事業計画など全六議案が原案通り可決承認されました。



議長に選任された
吉田貴幸氏 (生花)

令和四年度の地域農業は、四月は記録的な高温少雨となりサクラの開花も観測以来最も早く播種作業は順調でありましたが、五月には強風・干ばつの影

響、六月から八月は多雨・寡照の天候が続く合間を見ながらの野菜播種や防除作業を余儀なくされました。九月以降は、降水量も少なく晴天が続く順調な収穫期となりましたが、一年を通じて偏った気象経過により作物への影響は避けられず平年を下回る作柄となりました。

生乳生産につきましては、多くの生産者に減産を伴う生産抑制へのご協力とご理解をいただきましたが、近年、増産体制に向けて規模拡大を図った生産者には大変に厳しい生産枠の配分となりましたことから、目標数量を守ることが出来ない状況であり、二月末累計で6万8,582トンの生乳生産となりました。

本年度の農協取扱高は75億500万円の実績となり、昨年を引き続き大台を達成することが出来ました。

組合員皆様のご努力と卓越し

た技術、そして揺るぎない信頼関係のもと結集いただいた賜であり、深く感謝と敬意を申し上げます。

農協経営につきましては、生産コスト高騰に伴う緊急支援対策として3,878万円で還元を実施いたしました。そのよ

うな中で当期末処分剰余金は、対前年比27.8%減の7,361万円。剰余金処分額のうち、利益準備金を含めた内部留保に2,675万円、出資配当を含めた事業分量配当金に2,477万円を充当し、2,208万円を次期繰越とすることでご提案、承認されました。



報告事項を述べる
谷内田代表監事

令和五年度も変異株オミクロンが猛威を振るい感染が急拡大

しましたが、ワクチン接種の効果がより経済活動は回復の兆しが見え始めておりますが、ロシアによるウクライナ侵攻の戦火は未だ収まらず新たな景気後退の火種となり、エネルギーや食料品等の価格上昇を招き、日常生活に大きな影響を及ぼしています。

農業を取り巻く情勢は、燃油飼肥をはじめとする生産資材価格が高騰し、農業経営に大きなダメージを与え、特に酪農部門が深刻であり、生乳需要は回復を見ず減産計画を余儀なくされ、ホル雄価格の暴落も相まって、これまでにない極めて厳しい経営環境に置かれています。期中に乳価改定や国等の緊急支援も措置されましたが、コストアップ吸収分には不十分であり、持続可能な酪農経営が展開できるよう短期的には国の支援強化、中長期的には食料安全保障の強化による適正な価格転嫁に向けJAグループが一

丸となって要請運動を続けて参ります。

令和五年度事業計画につきましては、地区懇談会・生産部会・農事組合長会議等でいただいた意見要望を踏まえ、四年目を迎える第八次中期総合計画で掲げた基本目標に基づき、更には第三十回北海道大会で決議されたJA運営の好循環に向け組合員との対話を実践し、実現して参ります。

重点項目として、営農部門においてはコントラクター事業における事業拡大や適正施工料の検証、紙媒体を使用しないJAと組合員間の情報伝達に向けたJAコネクトの導入、若手経営者を対象とした学ぶ機会の提供、新規参入希望者への継続支援。経済部門では銘柄集約肥料の選定によるコスト削減、仕入業務や受発注事務の効率化の取り組み試行。信用共済部門については地域利用者への推進活動の

展開、金融店舗における事務効率化や事務経費の削減、事務手数料や貸付金利の見直しの実施。管理部門においては不祥事ゼロ運動の継続と災害対策計画の見直しについて実施して参ります。



高野職務代理より
閉会挨拶

主要な生産資材価格が高止まりし、生産コストが上がるなかで、生産量を抑制する農業経営は昨年にも増して厳しくなることが予想されます。今は「耐え凌ぐ期間」とし、この難局を対話を通じて組合員みんなで乗り越えて行きたいと思えます。

今年も大きな災害等に見舞われること無く豊穰の出来秋を皆で迎えられることを念願し閉会といたしました。



第六十回 JA忠類青年部定期総会開催



杉坂部長より挨拶

JA忠類青年部は、令和五年三月八日（水）に農協二階研修室にて第六十回定期総会を開催致しました。

開会宣言の後、出席者全員で青年部綱領を朗唱。杉坂部長の開会挨拶、蛇原組合長から挨拶を頂き、来賓の幕別町役場忠類総合支所 経済建設課長 半田健氏よりご祝辞を頂きました。
議長には小室洋輔さんを選出し議事に入りました。事業報告並びに収支決算、事業計画案は全て原案通り承認されました。また、役員改選が行われ、令和五年度役員に以下の方々を選出されました。



- 部長 渡邊 貴文（新）
- 副部長 赤坂 勇介（新）
- 理事 井上 洋平（再）
- 〃 長谷川 颯大（新）
- 監事 杉坂 一樹（新）

また、総会の閉会挨拶をした渡邊新部長は「昨年度は青年部創立六十周年を迎え、諸先輩方がこれまで築き上げてきた伝統大切に、これからも活動していきたい」と述べていました。



青年部豊作祈願祭の実施

JA忠類青年部（部長渡邊貴文）は、令和五年四月十八日（火）に忠類神社にて豊作祈願祭を行いました。

今年度の豊穰を祈願し、大安である十八日の夜に執り行い、日中の作業後ではありましたが、八名の部員が参加しました。

参加した部員はそれぞれ真剣に手を合わせ、参拝していました。



その後、場所を移動し、とよ雅にて懇親会を実施しました。

懇親会の場では部員同士が日頃の営農の悩みや今後の青年部活動について、さらには日常生活の些細なことまで話し合う姿が見受けられました。

また、四月より新たに青年部に入部した近藤穂高さんも祈願祭と懇親会に参加し、部員たちと交流を深めました。

懇親会は時間の許す限り行われ、話し足りなかった参加部員は次回の青年部行事を待ちきれない様子でした。

第四十二回 酪農部会 定期総会開催

J A 忠類酪農部会は、令和五年四月七日（金）にふれあいセンター福寿にて会員十名出席のもと第四十三回定期総会を行いました。

多田副部会長の開会挨拶に続き、蛭原代表理事組合長、幕別町役場忠類総合支所経済建設課長半田健氏、二名の来賓による挨拶の後、議事へと進行了しました。

第一号議案（令和四年度事業報告並びに収支決算報告の承認について）、第二号議案（令和五年度事業計画並びに収支予算案の承認について）が協議され、原案通り承認されました。

令和四年度事業は町内行事等が徐々に再開されてきた中で、本会も情勢に注視しつつ、活動してきてきました。本年度についても、今後



多田副部会長より挨拶

の情勢を踏まえ、行事の開催時期を検討して参ります。

第三号議案では役員の変更が行われ、令和五年度の役員は次の通り決定されました

部会長 多田 篤（新任）

副部会長 井田寿美恵（再任）

〃 吉田 貴幸（新任）

監事 大和 章二（再任）

監事 黒坂 宏哉（再任）

また、総会後に乳質改善共励会褒章式が行われました。

共励会の受賞者は次の通りです。

（最優秀賞）

（有）遠藤牧場（東 宝）

豊田 祐二（豊 成）

西川 信也（上 当）

杉坂 弘之（西忠類）

（優秀賞）

（株）ヨッシードバンス（生 花）

（有）向井牧場（東 宝）

（農）ハマナス牧場（晩 成）

小野寺 和也（元忠類）

（株）齊藤牧場（新 生）

第十八回 忠類和牛改良組合定期総会開催

令和五年四月十四日（金）午前十時三十分より、農協二階研修室において、第十八回忠類和牛改良組合定期総会が開催されました。

蛭原組合長の開会挨拶に続き、

蛭原 J A 組合長及び幕別町役場忠類総合支所経済建設課長 半田健氏よりそれぞれ祝辞を賜り、議事へと進行了しました。

議長には慣例に沿って蛭原組合長が選出され、第一号議案（令和四年度事業報告並びに収支決算）、第二号議案（令和五年度事業計画並びに収支予算案）第三号議案（優先配付精液割当基準について）について協議され、全て原案通り承認されました。

令和五年度の主な行事として、町内和牛飼育農家巡回、昨年からの継続事業として忠類給食センターへの和牛ハンバーグの提供、各種部門褒賞の設定などを計画しています。

第四号議案では役員改選が協議され、新年度役員が下記の通り選

出されました。

★令和五年度役員

組合長 蛭原 一（再）

副組合長 富倉 浩之（新）

監事 高橋 一男（新）

第五号議案（十勝和牛振興協議会代議案の選出について）では、

蛭原組合長の他、吉田貴幸氏が代議員として選出され、四月十七日に開催されます第五十回十勝和牛振興協議会定期総会への出席をお願い致しました。

総会終了後、新型コロナの制限も緩和されてきたこともあり、定期総会では三年ぶりとなる懇親会も開催され、久しぶりに組合員同士、顔を合わせた交流が行われました。



第18回定期総会の様子



第五十九回 忠類ゆり根耕作組合定期総会開催

令和五年四月三日（月）午後三時より、農協二階研修室において、第五十九回忠類ゆり根耕作組合定期総会が開催されました。

大坂組合長の開会挨拶に始まり、議事へと進行しました。



大坂組合長より挨拶

一号議案（令和四年度事業報告並びに収支決算の承認）二号議案（令和五年度事業計画並びに収支予算案の設定）について協議し、一号、二号議案ともに、原案通り承認されました。

令和四年度は若干遅めの融雪となりましたが、四月上旬から順調に作業が開始されま

した。しかし、七月の曇天降雨の影響により、収量の低下及び出荷量の減少に繋がりました。

それに伴い、総出荷量は前年よりも減少し、前年対比約84%、令和元年度の総出荷量から比較すると約39%となりました。

販売状況は新型コロナウイルスの影響による、外食店及び量販店での販売状況が懸念されましたが、落ち込んでいた外食店舗の需要等が回復傾向に向かっている印象となりました。

また、品質は目合わせの実施等の取り組みにより、組合全体として高位平準化が図られ、各市場より高評価を頂き、他産地との価格差に繋がりました。

国内販売単価については全道平均単価が819円に対し忠類平均単価が約987円と

なっております。

悪条件の中でも十分な選果を行って頂いた事から、忠類ゆり根に対する信頼が高まり、平均単価の上昇に繋がっている事かと思えます。

また、輸出を含めた販売平均単価については1064円となっております。

令和五年度の事業計画と致しましては、栽培技術の平準化や各関係機関との相互協力のもと、各種試験の取り組みや選果基準の徹底、忠類ゆり根を幅広い年齢層に定着させる為、地域と協力した拡販事業の実施。農産物直売所への継続的な出品体制にも尽力し、令和五年度の主な行事として、視察研修の実施、どんとこいむら祭り、とかち大収穫祭うまいもんまつり等イベントを計画しています。



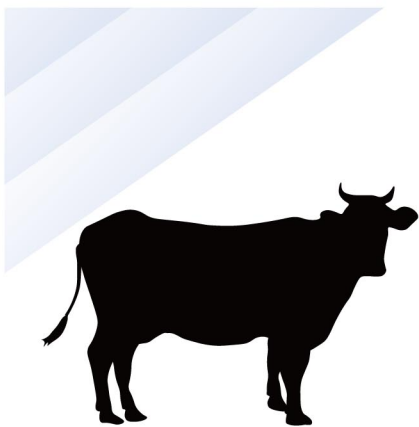
忠類和牛改良組合〜忠類和牛即売会を開催〜

令和五年四月二十二日（土）に忠類和牛改良組合により、JA忠類駐車場裏にて、忠類和牛即売会が開催されました。

販売開始時間は十時からでしたが、開店前から多くのお客さんが列に並びました。

今回の即売会で販売された商品は、ヒレステーキ、サーロイン、リブロース、ハンバーグ、ローストビーフ、特上カルビ、バラ焼肉、バラ薄切り、肩ロースすき焼きの九種類でした。

販売開始から一時間ほどで品薄状態となり、今回の開催も大盛況となりました。



ご購入ありがとうございます♪



多くのお客さんが列に並び様子

「菜の館ベジタ」がオープンしました！

JA忠類農畜産物直売所『菜の館ベジタ』が、令和五年四月二十九日（土）に本年度の営業を開始致しました。店内では、忠類ゆり根耕作組合より特産品のゆり根や各生産者の出品している野菜、山菜や田子豆腐店よりの豆腐・油揚げ、幕別町の木川商店の忠類産のゆり根を使用したコロッケ・どろぶたのメンチカツ、中札内若どり等、オープン



店内の様子

初日より好評な売れ行きとなりました。

営業時間につきましては、月・木・金は十時から十四時、土・日・祝は十時から十七時までの、営業となっております。定休日については、毎週火曜日・水曜日となります。

尚、入荷状況により営業時間を変更する場合がありますので、ご了承願います。

また、今年の営業は十一月五日（日）までとなっております。

沢山のお客様のご来店お待ちしております。



Instagramを開設しました！
商品の最新情報を発信します
フォローよろしくお願いします



JAって何？

〜今こそ知っておくべき！農業協同組合〜 第七回

①JAの共済事業

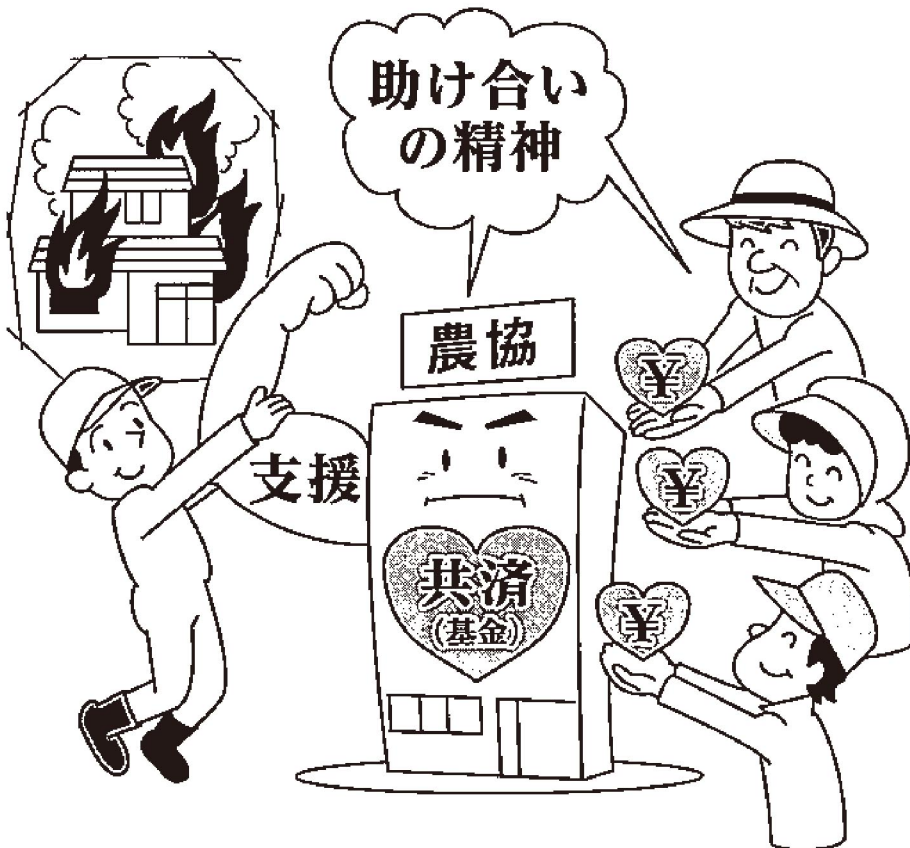
JAが行っている事業で特徴的なものが共済事業です。共済事業は、組合員が基金を積み立て、自然災害などで困った時にその基金から援助する仕組みであり、その根底にあるものはまさに「助け合いの精神」です。この共済制度は北海道の農協組織が始めたものが最初と言われており、その後、全国へと広がっていききました。

JAが取り扱っている共済には、火災、生命、自動車といったものがありますが、特筆すべきものとしては建物更生共済（建更）があります。一般の保険会社では地震などの自然災害に対して保険金は支払われませんが、建更は自然災害を含めた全ての災害に対応しています。また、保険業界には生・損保分離規制というルールがあり、生

命保険と損害保険の両方を一つの保険会社で行うことはできないことになっていますが、共済は保険とは異なるためこうした規制はありません。いわゆる生命保険は金融庁所管の営利事業に該当し、JAの生命共済は農林水産省所管の非営利事業に分類されているのです。

この他にもJAが行う共済事業には、掛金が安く、割戻しがあるなど多くのメリットがありますが、最近、日本において保険事業の拡大を狙っている外資系保険会社が「JAの共済事業は優遇され過ぎている」と主張し、一般の保険会社と同様に規制するよう日本政府に対して圧力をかけてきています。

保険と共済の違いを正しく理解し、助け合い精神の象徴でもあるJAの共済事業をこれからもしっかりと守っていくことが大切です。



②JAの厚生事業

JAが病院経営を行っているのをご存じでしょうか？組合員が健康を損なえば日々の農作業や生活に大きな支障をきたしてしまいますし、病院がなければその地域に安心して住むこともできません。そこで医療を通じて組合員の健康や地域を守る役割を果たしているのがJA北海道厚生連です。JA北海道厚生連は昭和14年に農民組織が上湧別に開設した「北紋医聯久美愛病院」が前身であり、現在、全道15カ所で厚生病院・診療所を運営しています。

病気の治療はもちろん大切ですが、日頃から病気にかけられないようにチェックすることも重要です。医療技術の進歩は目覚ましく、がんも早期発見によって治療が可能となってきました。このため厚生病院では健康管理活動に力を入れており、JA北海道厚

生連が実施している検診は全道で年間9万人が受診しています。

また、北海道の高齢化率は全国平均を上回っており、医療とあわせて高齢者介護も重要な課題です。JA北海道厚生連では、全道3カ所に特別養護老人ホームを設置し、各地域で訪問看護ステーションやデイサービスといった居宅サービスをを行っています。この他にもJA北海道厚生連では家庭配置薬事業も行っており、各地域のJAと連携を取りながら、地域医療の拠点としての役割を果たしています。

厚生病院・診療所に勤務している医者や看護師も私たちと同じJAの一員です。ぜひ気軽に声をかけて下さい。



帯広厚生病院全景 (JA北海道厚生連HPより)



新採用職員紹介

よろしくお願いします。

よろしく



- 1 部署
- 2 出身地
- 3 最終学歴
- 4 年齢
- 5 趣味・特技



なかや ゆうな
仲谷 悠那

- 1 営農部生産販売課畜産担当
- 2 幕別町札内
- 3 幕別清陵高校
- 4 18歳
- 5 バレーボール

經濟部燃料整備課燃料担当

なぐみ
佐久間 裕子

(三月一六日付準職員採用)

ピックアップ 農協職員

PICK UP!



名前 吉岡 江梨 (よしおか えり)
 所属部署・担当 經濟部生産資材課
 入組年 令和二年一月
 趣味・特技 お笑い・音楽鑑賞
 近況 息子が中三、娘が中一に進級しました

これからの夢や目標 スカイダイビングをしてみたいです

皆様へ一言 いつも大変お世話になっております。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

※撮影のため一時的にマスクを外しております



第一回 理事会

開催日 令和五年三月十日

付議事項

議案第一号 参事の選任について

議案第二号 信用供与等の限度額および貸付金利率等の最高限度について

議案第三号 コンプライアンス・プログラムの策定について

いて

議案第四号 余裕金の運用方針

および運用計画について

議案第五号 理事の利益相反取引に対する包括事前承認について

議案第六号 幕別町森林組合出資配当に伴う出資増口について

いて

議案第七号 全国酪農農業協同組合連合会への加入・出資

について

議案第八号 給与規程の一部改正

について

議案第九号 幕別町農業委員会

委員の団体推薦について

議案第十号 信用事業における

役員取扱手数料について

議案第十一号 信用事業における主要利率の改正について

議案第十二号 生産資材倉庫の

管理委託および専属運送契約の締結について

議案第十三号 生乳輸送業務請

負契約の締結について

議案第十四号 事業方針・事業

計画の設定並びに固定資産の取得計画について

議案第十五号 手数料率および

各種負担金の設定について

報告事項

一. 生乳生産状況について

二. 令和五年度ホクレン生乳契

約委託数量の報告について

三. 経営対策プロジェクトチー

ムの編成について

四. JAバンク基本方針の変更

について（総会報告）

五. 第4四半期（期末）余裕金

運用実績について

六. 理事と組合の間における「利

益相反取引」に伴う実績報告について

七. コンプライアンス・プログラ

ム実践状況報告について

八. コンプライアンス事故報告

について

九. 組合員異動報告について

十. 内部監査業務報告について

十一. 令和五年度監事監査計画について

第二回 理事会

開催日 令和五年三月二十四日

付議事項

議案第一号 JA懇談会の開催

について

議案第二号 第七十五回通常総

会の招集と開催要領につい

て

議案第三号 営農計画個別協議

案件者に対する組合員勘定

貸越極度額並びに組合員勘

定資金供給限度額の承認に

ついて

協議事項

一. 令和四年度 決算見込みお

よび当期末処分剰余金処分

（案）について

二. 食料安全保障の強化と持続

可能な畑作農業・酪農畜産

政策の確立に向けた組織討

議について

報告事項

一. 生乳生産状況について

二. 第3期意向生産対策（令和

四年度及び令和五年度）に

係る取り進めについて

三. 乳質自主規制金の用途内容

の報告について

四. 第8次中期総合計画との実

績対比について

五. JAバンク相談・苦情等対

応状況報告について

六. JA共済相談・苦情等対応

状況報告について

七. 令和四年度 農業振興・J

A運営ヒアリング報告につ

いて

八. 経営定期点検実施結果報告

について



九、人事異動の発令について

第三回 理事会

開催日 令和五年四月四日

付議事項

- 議案第一号 令和四年度事業報告、貸貸対照表、損益計算書、剰余金処分案、目的積立金の取崩および注記表の承認並びに監事監査報告について
- 議案第二号 第七十五回通常総会提出議案について

- 議案第三号 第七十五回通常総会議決権行使書面の取扱いについて
- 議案第四号 収支シミュレーションの予測結果について
- 議案第五号 「三つの方針」への対応について

報告事項

- 一、資産自己査定の結果について
- 二、決算監事監査の結果について
- 三、内部監査結果について

四、職員異動報告について

第四回 理事会

開催日 令和五年四月二十七日

付議事項

- 議案第一号 理事の報酬額および支給時期の決定について
- 議案第二号 役員賠償責任保険締結について
- 議案第三号 関係組織役員の出について
- 議案第四号 職員就業規則の一部改正について
- 議案第五号 準職員就業規則の一部改正について
- 議案第六号 出資金の持分譲渡について
- 議案第七号 行政庁に提出する業務報告書について
- 議案第八号 固定資産（リース）の取得について（經濟部）
- 議案第九号 固定資産（リース）の取得について（営農部）
- 議案第十号 草地難防除雑草駆除対策事業に係わる施工業者の選定について

報告事項

- 一、草地難防除雑草駆除対策事業の需要報告について
- 二、生乳生産状況について
- 三、特定組合員収支状況報告（三月末）について
- 四、流動性カバレッジ比率について
- 五、J A懇談会の意見集約について
- 六、人事異動の発令について

協議事項

- 一、第3期意向生産対策に係る令和四年度総括と令和五年度の取り進めについて

退職者

参事兼務理事

山内 信博

（三月三十一日付退職）

（四月一日付再雇用）

金融部金融共済課共済担当

田口 大貴

（三月三十一日付退職）

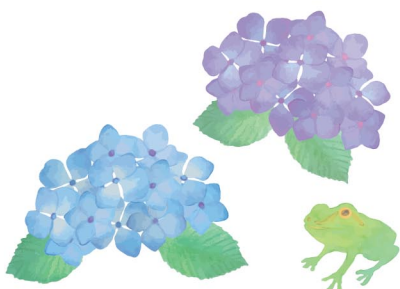
金融部金融共済課組勘担当

齊藤 凧

（四月三十日付退職）

（五月一日付準職員採用）

お世話になりました。



退職挨拶



山内 信博

この度、三月末をもちまして定年という区切りを迎えることとなりました。

農協学校を卒業し昭和五十八年四月に採用となり、以来四十年の歳月が流れ、人生の三分の二を過ごさせていただきました。

昭和五十八年は類を見ない異常気象に見舞われ大冷害の年でありましたが、当時の自分はその深刻な事態に気づくこともできないほど浅学であったのを覚えています。入組から十八年間は管理畑中心の業務に携わらせていただき、この間に農協経営について色々と学ばせていただきました。平成十四年の人事異動で営農部署配属を受け、これまで組合員さんと接する機会が少なかったことから戸惑いもありましたが、個体識別管理の導入、生乳生産調整、コントラクター事業の新規展開、菜の館ベ

ジタの開設、外国人研修生の受入開始、酪農家の規模拡大や法人化、TMRセンターの稼働など多くの事業に携わらせていただき辛い時期もありましたが、組合員の皆様に助けられ乗り切ることができ、職員として大変貴重な経験をさせていただいた期間でありました。経済部署での三年間は子会社を設立し生活店舗事業の再建に向け事業展開を図って参りましたが、結果として廃止を余儀なくされ自分の能力の無さには、今更ながら申し訳なさでいっぱいでありま

す。参事となり全体を幅広くみるこのプレッシャーのなか、なんとか今日を迎えることができました。この四十年間、組合員ご家族、歴代の役職員の皆様からご指導ご支援賜りましたこと心より感謝申し上げます。

農協のご配慮をいただきもう少しの間勤めさせていただけることとなりましたので、今後とも宜しくお願いいたします。

結びに忠類農業の益々の発展と、組合員、役職員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。定年のご挨拶とさせていただきます。

私の食育日記

骨に良い食事を目指そう

食育インストラクター ● 岡村麻純

冬には家族でスキーやスノーボードに夢中になっていますが、今年が夫がまさかのけが。腕の骨にひびが入ってしまった。それからはわが家の食事は骨に良いものというテーマになっています。骨に良い食事は、けがだけでなく、成長期の子どもや高齢者にとっても大切です。

骨といえばカルシウム。カルシウムは体内の約99%が骨と歯に含まれています。残りの1%は血液に含まれ、とても重要な役割をしています。この血液中のカルシウムが不足してくると骨にあるカルシウムを使うため、骨が弱くなったり、成長に影響を及ぼしたりすることもあるのです。

厚生労働省が出している「日本人の食事摂取基準（2020年版）」によると、カルシウムを食事から取る1日の推奨量は12〜14歳



の成長期に最も多く、男子では約1000mgです。牛乳1杯に含まれるカルシウムが約230mgですので、成長期には1日牛乳4杯分ほどのカルシウムの摂取が望ましいことが分かります。そして30代男性では約740mg、65〜74歳の男性では約770mgとなっています。糖質など多くの栄養は高齢になるにつれ摂取目標が少なくなっています。カルシウムは加齢とともに吸収率が下がるため、高齢の方に多い摂取目標となっています。

カルシウムの吸収率が良い食品といえば牛乳です。他にも小魚や小松菜、チンゲンサイなどの野菜にも多く含まれます。さらにカルシウムの吸収を助けてくれるビタミンDを一緒に摂取することをお勧めします。

ビタミンDは干しシイタケやキクラゲ、イワシやサケに多く含まれます。一方、リンはカルシウムの吸収を妨げてしまうので、リンが多く含まれるインスタント食品や加工品の摂取は控えるようにしましょう。

骨に良い食事を目指して、毎食カルシウムを多く含む食品の一つでも加えられるように意識していこうと思います。





| 支出 | | 令和5営農年度実績 | | | 令和4~5年度差額 | | | (単位：千円) |
|----|-------------|------------------|------------------|-------------|-------------------|-------------------|------------|---------|
| 項目 | 年別 | R5実績 | R4実績 | 前年比 | 前年差額 | R5計画 | 進捗 | (差異要因) |
| 50 | 労賃 | 280,931 | 283,803 | 98% | (△2,871) | 891,621 | 32% | |
| 51 | 肥料費 | 312,765 | 185,340 | 168% | (+127,426) | 413,524 | 76% | 肥料価格高騰 |
| 52 | 種苗費 | 599 | 280 | 213% | (+319) | 88,840 | 1% | |
| 53 | 農薬費 | 123 | 146 | 83% | (△24) | 74,712 | 0% | |
| 54 | 飼料費 | 2,179,992 | 1,807,026 | 120% | (+372,965) | 5,728,022 | 38% | 飼料価格高騰 |
| | △TMRC | (1,417,121) | (1,189,976) | (119%) | (+227,145) | - | - | |
| 55 | 養畜費 | 314,530 | 287,003 | 109% | (+27,528) | 889,706 | 35% | |
| 56 | 素畜費 | 4,734 | 7,281 | 65% | (△2,547) | 8,800 | 54% | |
| 57 | 生産資材費 | 31,170 | 23,328 | 133% | (+7,843) | 128,863 | 24% | |
| 58 | 農業共済掛金 | 161,733 | 139,069 | 116% | (+22,664) | 222,250 | 73% | |
| 59 | 賃料料金 | 429,354 | 402,710 | 106% | (+26,644) | 1,450,475 | 30% | |
| 61 | 修理費 | 129,935 | 104,301 | 124% | (+25,634) | 300,739 | 43% | |
| 62 | 水道光熱費 | 116,890 | 112,736 | 103% | (+4,155) | 310,996 | 38% | |
| 63 | 営農車両費 | 89,810 | 77,286 | 116% | (+12,524) | 297,586 | 30% | |
| 64 | 支払利息 | 2,815 | 2,774 | 101% | (+41) | 64,043 | 4% | |
| 65 | 租税公課 | 19,869 | 27,065 | 73% | (△7,196) | 125,165 | 16% | |
| 66 | 諸負担金 | 18,229 | 14,457 | 126% | (+3,773) | 80,415 | 23% | |
| 67 | その他経営費 | 81,386 | 67,110 | 121% | (+14,276) | 214,026 | 38% | |
| | 農業支出 | 4,174,866 | 3,541,714 | 118% | (+633,152) | 11,289,783 | 37% | |
| | △TMRC農業支出 | (3,225,934) | (2,778,261) | (116%) | (+447,673) | - | - | |
| 70 | 農外支出 | 0 | 0 | 0% | (+0) | 0 | - | |
| 71 | 家計費 | 59,398 | 60,243 | 98% | (△845) | 183,589 | 32% | |
| 80 | 貯金共済掛金 | 112,254 | 105,814 | 106% | (+6,440) | 308,575 | 36% | |
| 81 | 借入金返済 | 143,261 | 197,169 | 72% | (△53,908) | 750,878 | 19% | |
| 82 | 資産取得 | 91,333 | 72,509 | 125% | (+18,824) | 133,869 | 68% | |
| 83 | その他資産 | 78,793 | 0 | 0% | (+78,793) | 0 | - | |
| | 支出計 | 4,659,905 | 3,977,448 | 117% | (+682,457) | 12,666,694 | 37% | |
| | △TMRC農業支出 | (3,685,902) | (3,197,653) | (115%) | (+488,249) | - | - | |

| | | | | | |
|------|----------|---------|------|------------|--|
| 預り件数 | 27件 | 38件 | 71% | (△11件) | <p>経費全般が増加傾向のなか肥料価格、飼料価格の高騰が顕著。特に酪農経営を中心に収支の悪化が懸念されます。</p> <p>昨年に続き、非常に厳しい農業情勢が想定されることから、今一度営農計画に基づく適正なクミカン運用について宜しくお願いたします。</p> |
| 預り額 | 197,030 | 198,326 | 99% | (△1,297) | |
| 貸越件数 | 43件 | 37件 | 116% | (+6件) | |
| 貸越額 | 341,941 | 191,039 | 179% | (+150,903) | |
| 差引 | △144,911 | +7,288 | | (△152,199) | |

令和5営農年度 クミカン実績【JA全体】 令和5年1月1日～令和5年4月30日

| 収入 | | 令和5営農年度実績 | | | 令和4～5年度差額 | | | (単位：千円) |
|--------------|----------|------------------|------------------|-------------|-------------------|-------------------|------------|------------|
| 項目 | 年別 | R5実績 | R4実績 | 前年比 | 前年差額 | R5計画 | 進捗 | (差異要因) |
| 01 | 麦 | 0 | 0 | 0% | (+0) | 19,760 | 0% | |
| 02 | 豆類・雑穀 | 4,750 | 4,238 | 112% | (+512) | 59,190 | 8% | |
| 03 | 馬鈴薯 | 0 | 0 | 0% | (+0) | 76,370 | 0% | |
| 04 | てん菜 | 0 | 0 | 0% | (+0) | 46,710 | 0% | |
| 05 | 青果・そ菜 | 95 | 28 | 333% | (+66) | 218,150 | 0% | |
| 06 | その他農産物 | 1,371 | 1,691 | 81% | (△320) | 65,762 | 2% | |
| 07 | 過年度産農産物 | 29,198 | 40,735 | 71% | (△11,537) | 109,856 | 27% | |
| 農産収入 | | 35,413 | 46,692 | 76% | (△11,279) | 595,798 | 6% | |
| 10 | 生乳 | 2,311,694 | 2,249,044 | 102% | (+62,650) | 6,799,880 | 34% | 乳価上昇 |
| 11 | 乳用牛 | 149,892 | 161,672 | 92% | (△11,780) | 472,447 | 32% | 市場価格低迷 |
| 12 | 肉用牛 | 56,103 | 50,423 | 111% | (+5,679) | 209,520 | 27% | 売却頭数増加 |
| 13 | TMR受入飼料 | 930,410 | 762,675 | 121% | (+167,734) | 2,726,000 | 34% | 飼料価格高騰 |
| 14 | 鶏・卵 | 0 | 0 | 0% | (+0) | 0 | - | |
| 15 | その他畜産 | 434 | 110 | 394% | (+324) | 360 | 120% | |
| 畜産収入 | | 3,448,532 | 3,223,925 | 107% | (+224,608) | 10,208,207 | 34% | |
| △TMR受入飼料 | | (2,518,123) | (2,461,250) | (102%) | (+56,873) | (7,482,207) | (34%) | |
| 20 | 受入共済金 | 97,980 | 92,992 | 105% | (+4,988) | 238,382 | 41% | |
| 21 | 受入補助金奨励金 | 223,439 | 128,333 | 174% | (+95,106) | 504,293 | 44% | 情勢悪化に伴う諸対策 |
| 22 | 受入賃貸料 | 12,237 | 13,651 | 89% | (△1,414) | 77,515 | 16% | |
| 23 | 農業雑収入 | 26,760 | 18,979 | 140% | (+7,781) | 170,395 | 16% | |
| 農業収入 | | 3,844,362 | 3,524,572 | 109% | (+319,790) | 11,794,590 | 33% | |
| △TMR受入飼料 | | (2,913,952) | (2,761,896) | (106%) | (+152,056) | (9,068,590) | (32%) | |
| 30 | 農外収入 | 92,955 | 2,500 | 3718% | (+90,455) | 29,362 | 317% | 農地売却 |
| 40 | 資金借入 | 6,600 | 84,600 | 7% | (△78,000) | 80,560 | 8% | SN資金 |
| 41 | 資金受入 | 560,018 | 367,321 | 152% | (+192,697) | 666,890 | 84% | 前期繰越増 |
| 42 | その他負債・資本 | 11,058 | 10,213 | 108% | (+845) | 17,228 | 64% | |
| 収入計 | | 4,514,993 | 3,989,206 | 113% | (+525,788) | 12,588,630 | 36% | |
| △TMR受入飼料 | | (3,584,584) | (3,226,530) | (111%) | (+358,053) | (9,862,630) | (36%) | |
| 生乳生産量 | | 22,202t | 22,399t | 99% | (△197t) | 62,840t | 35% | |
| (組勘取引) | | (21,705t) | (21,824t) | (99%) | (△118t) | (61,430t) | (35%) | |
| 乳代単価 | | 106.5円 | 103.1円 | 103% | 3.4円 | 110.7円 | 96% | |
| (控除後) | | 97.8円 | 94.9円 | (103%) | 2.9円 | | | |



飼料費削減に向けた飼養管理 ~ビタミン製剤を中心として~

十勝農業改良普及センター十勝南部支所

生乳の生産抑制下において、未曾有の飼料高騰が加わり、酪農経営はかつてない困難な状況に陥っています。そのような中で、経営費の多くを占める飼料費をできるだけ削減したいと考える酪農家は多いと思います。配合飼料などの濃厚飼料の給与量を減らす場合、併せてサイレージなどの自給飼料を食べるところまで増やす必要があります。すなわち栄養濃度の低い飼料をお腹いっぱい食べさせることです。(図1)。エサ寄せなど乾物摂取量

上げる取組がより大切になります。一方、生産現場では飼料添加物の給与を抑える動きもみられます。ミネラル製剤、ビタミン製剤、生菌剤およびカビ毒吸着剤などがそれにあたります。これらは、乳牛の健康維持に加え、免疫機能の向上、周産期疾病や繁殖障害の予防に効果があります。今回は、ビタミン製剤の節減の可能性について考えます。

1 免疫機能とビタミン

乳房炎を例にとります。乳房炎により乳腺に炎症が起こると、白血球がバクテリアを捕食・消化します。この際に活性酸素が発生しますが、活性酸素は感染防御にとって重要な役割がある一方で、細胞の老化や疾病の発生要因にもなります。ビタミン製剤(AおよびE)は、抗酸化物質として、このと

きに発生する活性酸素を解毒する働きがあります。

2 自給飼料にも含まれている

ビタミンは牧草に多く含まれています。その含量は放牧草で最も多く、サイレージは収穫時期、水分含量などにより変化します。乾草は最も少なくなります(図2)。

3 ルーメン内で破壊される

自給飼料の給与が少ない(濃厚飼料が多い)場合、摂取したビタミンはルーメン内で破壊されてしまいます。逆にいうと、自給飼料(とくにグラスサイレージ)の給与割合を増やすことで、添加量を減らすことができる可能性があります。

4 衛生的な環境で飼養する

細菌に曝される機会が多いと免疫機能が働きビタミンが多く必要になってしまいます(図1)。衛生的な環境で飼養することにより添加量を減らせる可能性があります。

5 免疫機能が抑制される時期

乾乳後期・産褥期は免疫機能が抑制されます。この時期のビタミン給与は、初乳を介した子牛への移行にとっても大切です。自給飼料の品質や量、飼養環境によりビタミン製剤の添加量は変わるといえます。農場の状況に応じて、その添加量を検討してみたいかがでしょうか。

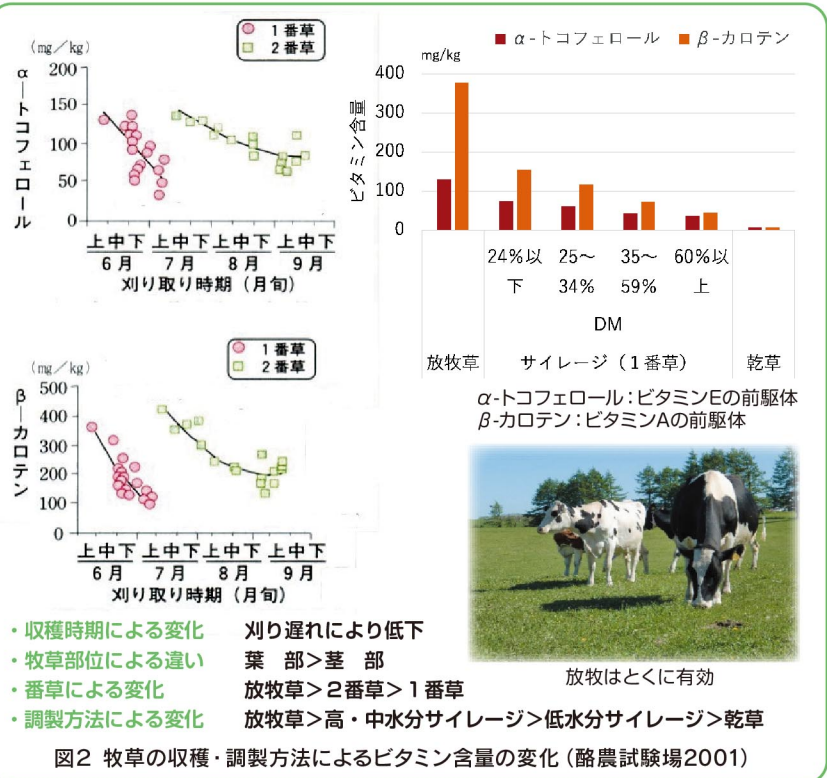


濃厚飼料が少ない(栄養濃度の低い)エサでも腹いっぱい食べさせる嗜好性のいい自給飼料の生産とエサ寄せ作業は重要



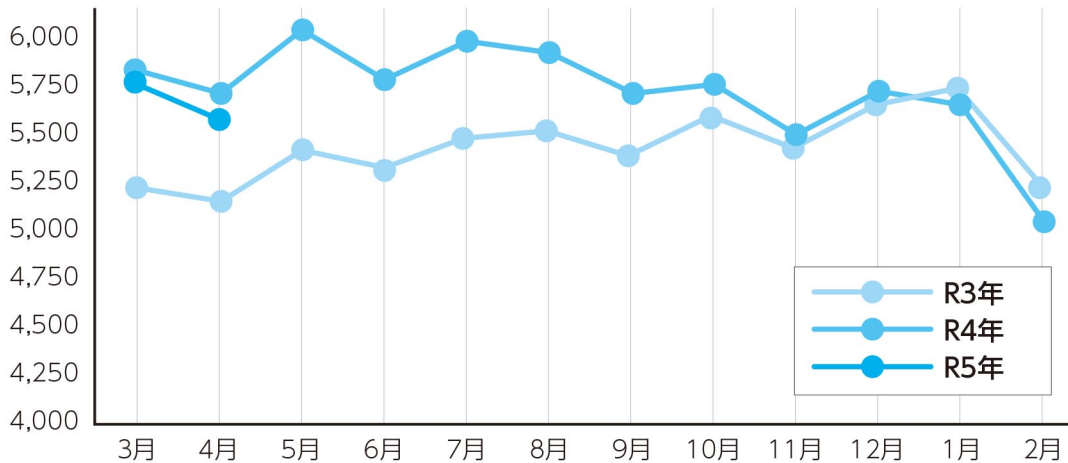
細菌にさらされる機会を減らすため衛生的な飼養環境を心がける

図1 ビタミン製剤低減に向けてとくに必要な飼養管理



高泌乳化に伴い、添加量としてのビタミン要求量は増えています。一方、牧草を適期に収穫し、極端な低水分サイレージを避けるなどの牧草調製により、自給飼料中のビタミン濃度の低下を抑えることで給与飼料のビタミン添加を抑えられる可能性があります。

生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより



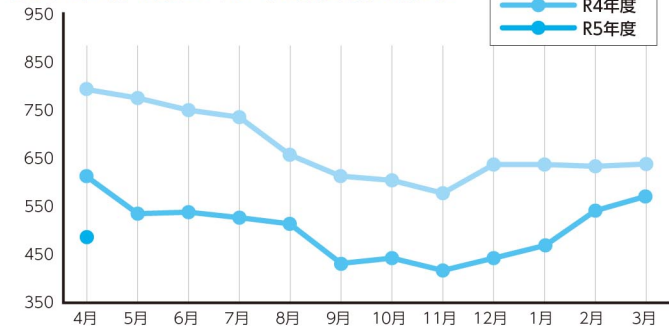
乳牛

- 売買頭数：1,038頭 (成立77.3%)
- 平均価格 (税込)：482千円 (先月比↓91、前年比↓130)

相場予想

先月の平均価格は、夏分娩が出回り始め、導入需要が落ち着いたことから、弱含みで推移した。今月について、夏分煙中心となり、道内外ともに引合はさらに弱まるため、相場は弱含みで推移することが予測される。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



黒毛和種・F1

結果速報

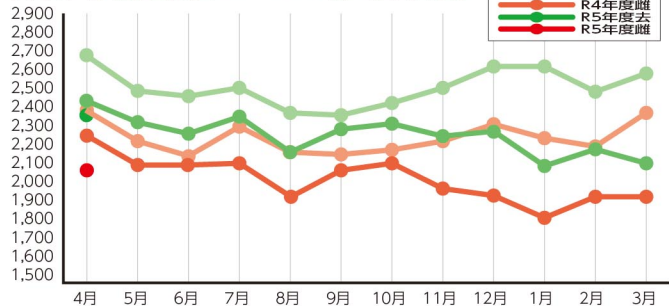
● 売買頭数

- 黒毛和種去勢 **1,031頭** (成立94.3%)
- 乳用交雑種去勢 **1,581頭** (成立96.0%)
- 黒毛和種雌 **861頭** (成立95.2%)
- 乳用交雑種雌 **1,399頭** (成立94.9%)

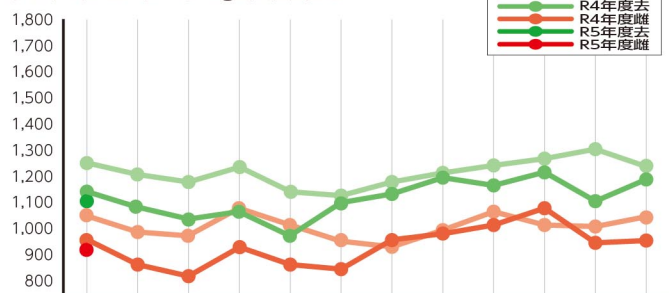
● kg単価

- 黒毛和種去勢 **2,352円** (先月比 ↑ 258)
- 乳用交雑種去勢 **1,101円** (先月比 ↓ 81)
- 黒毛和種雌 **2,053円** (先月比 ↑ 138)
- 乳用交雑種雌 **916円** (先月比 ↑ 39)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移





安全・安心な農産物の 生産に向けて

農薬を散布する際には、
「飛散(ドリフト)防止」と「適正な使用・管理」を心がけ、
農薬による事故がないよう取り組みましょう。

農薬使用におけるポイント

使用前

- ▶ 農薬ラベルを確認する
- ▶ タンク内残液など散布器具類を点検する
- ▶ 事前に防除するほ場周辺の状況を確認する

誤使用しないよう必ず
ラベルをチェック!



使用時

- ▶ 防護服、マスク、手袋など適切な保護具を着用する
- ▶ 農薬の使用法を守り適切に使う
- ▶ 正しい散布操作を心がける
周辺への農薬の飛散を防止する



使用后

- ▶ 散布器具類を丁寧に洗浄する
- ▶ 農薬は適正に保管する
- ▶ 散布履歴を都度記帳する
- ▶ 散布後は体をゆっくり休める



農薬安全使用チェックシート

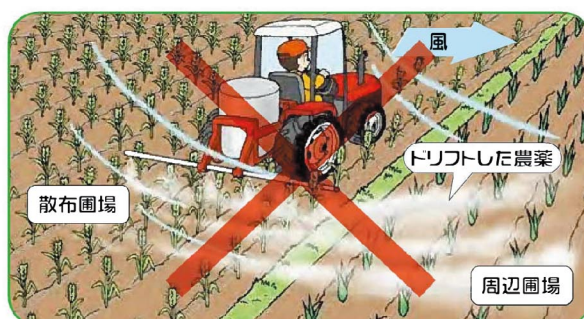
使用方法の遵守

- ラベルにある作物以外には使用しない。
- 使用量・希釈倍率、使用時期、収穫前日数は必ず守る。
- 事前に防除するほ場周辺の状況を確認する。
- 最終有効期限を過ぎた農薬は使用しない。



飛散（ドリフト）の防止

- 風向きに注意し、風の弱いときに散布する。
- 周辺に収穫間近の他作物がある場合、特に注意する。
- できるだけ作物の近くから散布する。
- 近隣の生産者と栽培状況や農薬散布のスケジュールについて情報交換する。



散布器具の洗浄

- タンク内だけでなく、ブームやノズルもしっかりと洗浄する。
- 廃液などは河川や公共用水域に流れないように注意する。



間接的な付着の防止

- 防除作業時に使用した衣類・用具類は収穫の際には使用しない。
- 農薬に触れた手や容器で収穫物を扱わない。

育苗ハウスでの注意

- 後作物の栽培予定のハウスで農薬を使用する場合は、ハウス外で処理する。
- 育苗時にハウス内で処理した場合は、後作物の栽培を避ける。



散布履歴の記帳・農薬の適切な保管管理

- 散布日、農薬名、散布量（使用量・希釈倍率）は必ず都度管理する。
- 農薬専用の保管場所で管理し、必ず施錠する。



ホワイトソースで!! ケーズフォンデュ♡



材料 (3~4人分)

- ・牛乳 400ml
 - ・小麦粉 30g
 - ・バター 30g
 - ・コンソメ 5g (固形1コ)
 - ・塩・コショウ 少々
 - ・めろま湯 200ml
 - ・スキムミルク 大4
 - ・溶けるチーズ 150gくらい
 - ・野菜 (ジャガイモ、ニンジン、ブロッコリー)
 - ・お肉 (ウィンター、とりもも肉等)
- ホワイトソース

先にホワイトソースを作って、そのあとにケーズフォンデュアロにするよ!

1 牛乳と小麦粉と、コンソメ (細かくしたものを) を冷たいフライパンに入れてよく混ぜる。



2 バターを入れて、フライパンを火にかける。(中火)



3 へらでなべ底からよく混ぜながら、十分に火を入れる。(グツグツなるまで沸騰させる)



4 ケーズフォンデュで食べる具材の用意をする。

～野菜～
1.5cmくらいに切っておく!



～お肉～
ウィンターは半分に!
お肉は10g大きさに切って焼いておく!



5 めろま湯にスキムミルクを溶かしておく。溶けたら、3のフライパンに入れてよく混ぜる。その後、チーズを入れて溶かす。



6 完成!!
具材にチーズをつけてながら食べよう!



絵: 友西このみ